



注意 (Notice)

それぞれの課題には付属パッケージ (attachment package) があり、コンテストシステムからダウンロード可能である。

『出力のみ (output-only)』の課題については、以下のように行うこと:

- 入力のテストケースは付属パッケージに含まれている。あなたの行うべきことは、与えられた各テストケースについて、出力ファイルを提出することのみである。
- 最大 100 回まで提出することができる。それぞれの提出において、テストケースの任意の部分集合について、その出力ファイルを提出することができる。

それ以外の課題については、以下のように行うこと:

- 1 個のファイルのみを提出すること。ファイル名は問題文のヘッダ部分に与えられる。
- 付属パッケージには、採点プログラムのサンプル・実装のサンプル・テストケースの例が含まれている。
- 提出するファイルにおいては、問題文中で指定されたプロシージャを、実装のサンプルで与えられたシグネチャを用いて実装すること。
- これらのプロシージャは、問題文中で指定された通りの動作をするものであること。
- 他のプロシージャを実装するのは自由である。
- それぞれの課題ごとに、最大 50 回まで提出することができる。
- 採点プログラムのサンプルの入力において、1 つの行において、隣り合う数の間は 1 個の空白で区切られている。ただし、はっきりと他の書式が指定されている場合を除く。
- あなたの提出は、標準入力/出力や、他のいかなるファイルとも、いかなる方法であっても、やりとりを行ってはならない。特に、いかなるデータであっても、標準入力から読み込んだ場合や、標準出力に書き出した場合は、採点結果ではセキュリティ違反 (Security Violation) と判定されることがある。ただし、標準エラー出力には、いかなるデータを書き出してもよい。

慣例 (Conventions)

問題文においては、次のような一般的な型の名称を用いる: `bool`, `integer`, `int64`, `int[]` (配列)

使用可能なプログラミング言語のそれぞれにおいて、採点プログラムは、以下の表のように、そのプログラミング言語にとって適切なデータ型または実装を用いる:

言語	<code>bool</code>	<code>integer</code>	<code>int64</code>	<code>int[]</code>	配列 a の長さ
C++	<code>bool</code>	<code>int</code>	<code>long long</code>	<code>std::vector<int></code>	<code>a.size()</code>
Pascal	<code>boolean</code>	<code>longint</code>	<code>int64</code>	<code>array of longint</code>	<code>Length(a)</code>
Java	<code>boolean</code>	<code>int</code>	<code>long</code>	<code>int[]</code>	<code>a.length</code>



制限 (Limits)

課題	時間制限	メモリ制限
山脈 (Mountains)	1 秒	256 MB
カップ (Cup)	1 秒	256 MB
コイン (Coins)	1 秒	256 MB
数独 (Sudoku)	出力のみ	出力のみ